

北大が東北大学だった時代

大学文書館 井上高聡



東北帝国大学農科大学の正門 1907年当時 (大学文書館蔵)

何のことやら意味不明な表題だと思ふ向きもあるが、北大が東北大学の一部であった時代があった。

北海道大学の前身校である札幌農学校は、開校以来、大学と同水準の研究や講義を行なっていたが制度上は大学ではなかった。教員・学生・卒業生ら関係者にとつて大学昇格は宿願であったが、昇格に困難な状況もあった。日本政府は、東京の帝国大学に加え、一八九七年に二校目の大学として京都帝国大学を設立し、さらに一九〇〇年代に大学増設の計画を進めて新設地を九州と東北としていた。また、当時の制度では大学は複数の分科大学(学部)で組織することとなっており、農学専門の札幌農学校単独では大学に昇格することはできなかった。

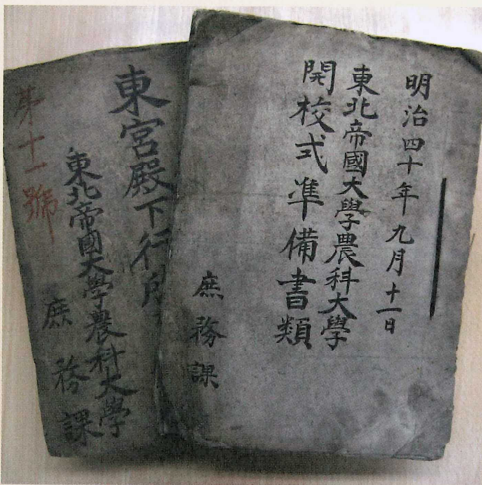
それでも関係者と地元北海道・札幌の運動に加え、佐藤昌介校長が人脈を駆使して中央政府に働き掛けたことが功を奏す。一九〇七年九月、政府は札幌農学校を改編した札幌の農科大学(農学部)と、仙台に新設する理科

大学(理学部)の二分科大学からなる東北帝国大学を設置した。東北帝国大学は本部を仙台に置いたが、理科大学設置は一九〇一年であったため、事実上、東北帝国大学は札幌から出発することとなった。東北大学と北海道大学は歴史的に兄弟校の関係にあると言える。

その後、札幌に医科大学(医学部)を新設することとなって東北帝国大学から独立、一九〇八年四月に五番目の大学として北海道帝国大学が開学した。東北帝国大学であった一九〇七〜一九〇八年の十年余りは北大にとつて、大学としての基盤を整え、さらに拡充していく非常に重要な時期であった。

ところで、大学公文書(大学運営のため学内で、又は学外組織等と連携取りする事務文書)

には、その文書を発した大学が分かるように「文書記号」を付すことになっている。例えば、東京大学ならば「東大」という文書記号を使用している。北大の場合、札幌農学校時代は「札幌」、東北帝国大学農科大学時代は「北農」、北海道帝国大学時代は「北大」が文書記号であった。戦後、一九四九年に新制大学となつて以降、北海道大学の文書記号は「海大」である。「北大」という文書記号は東北大学が使用している。文書管理の現場では、現在も「北大」は東北大学である。



東北帝国大学農科大学時代の大学公文書の綴り (大学文書館蔵)